

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,358 千円 (前年度予算額： 2,205 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,205	0	0	0	0	0	0	1,900	305
要求額	11,358	0	0	0	0	0	0	10,200	1,158
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

文化財保護センターは平成10年に旧警察学校の跡地に移転し現在に至るが、旧警察学校の建物をそのまま活用しているため老朽化が著しい。職員や来館者に対してどのように安全を確保するか、また発掘調査に伴い出土する大量の遺物や発掘記録をどのように保管していくかが課題であり、このため文化財保護センターの安全安心な環境の整備を実施する。

(2) 事業内容

◎文化財保護センター空調機更新工事

本館6台、中館2台の空調機について、設置から20年以上(耐用年数13年)経過しており、不具合が発生している機器もあり、交換できる部品もなく修理不能な状態であるため、空調機を更新する。平準化を図り、令和8年度は10台の空調機のうち本館1階所長室及び執務室の空調機計3台を更新する。

◎文化財保護センター照明器具LED化工事

令和9年度で蛍光灯の製造が廃止されることに伴い、蛍光灯照明器具について、計画的にLED照明器具へ更新する必要がある。令和8年度については、センター本館・中館、飛騨駐在事務所の照明器具をLEDへ更新する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県負担

(4) 類似事業の有無
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	3,713	センター本館1階所長室・執務室空調機更新工事
	7,645	センター本館通常照明器具LED化工事 3,014
		センター中館通常照明器具LED化工事 1,718
		飛驒駐在事務所照明器具LED化工事 2,913
合計	11,358	

決定額の考え方

施設の在り方、再整備方針を検討したうえで環境整備を実施することとし計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設の長寿命化計画に基づき、建築物、建築設備の修繕や更新を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図るとともに財政負担の軽減を図る。

(2) 後年度の財政負担

計画的に施設整備を行うことで、突発的な不具合を減らし負担軽減を図る。

(3) 事業主体及びその妥当性

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存し、その研究、活用をとおして県の文化振興に寄与することを目的とする県の教育機関であり、施設管理者として安心安全な環境づくりを推進する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
老朽化、経年劣化した建物を使用目的に合わせて整備することで、職員及び来館者にとって安心安全な施設づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

センターを維持管理するための環境整備であるため、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 5 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 6 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 7 年度	令和9年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(2) 事業内容

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	老朽化、経年劣化等に合わせて、修繕や更新を計画的に実施する必要がある。
2	
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	施設・設備の更新等を行うことで、安全・安心・快適な環境の提供に寄与した。
2	
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	旧警察学校の建物をそのまま活用しているため老朽化が著しく、定期的な更新やメンテナンス等を行い、故障や破損による影響を最小限に留めることが重要である。
1	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 老朽化、経年劣化に合わせて、順次更新していく必要がある。
--

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	